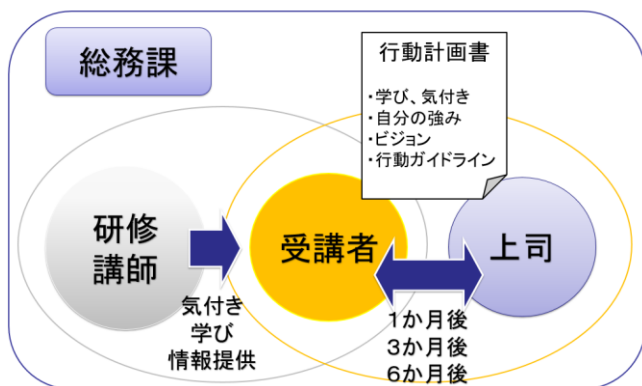


北広島町役場様

## 研修後の定期的な見直しで、学びを止めない仕組みづくり



### 研修の位置づけと受講後のフォロー体制



#### 背景

弊社から営業アプローチをしたところ、研修ご担当者様から「初任者研修は実施しているが、階層別研修も実施していきたい」と相談を受けた。中堅職員として「前に踏み出す力」「考え抜く力」\*を養うとともに、困難なことに直面した際、周囲へ協力を求める手法を身に付けてほしいとの要望があった。

#### 導入

中堅職員を対象に「これまでの振り返り」「レジリエンス」「コミュニケーション」の3テーマを実施。受講者には、事前課題として「入職から現在までの振り返り」に取り組んでいただき、グループ共有し中堅としての役割認識も促した。アサーションや思考の幅を広げる演習を行い、職場に生かせる情報提供を行った。

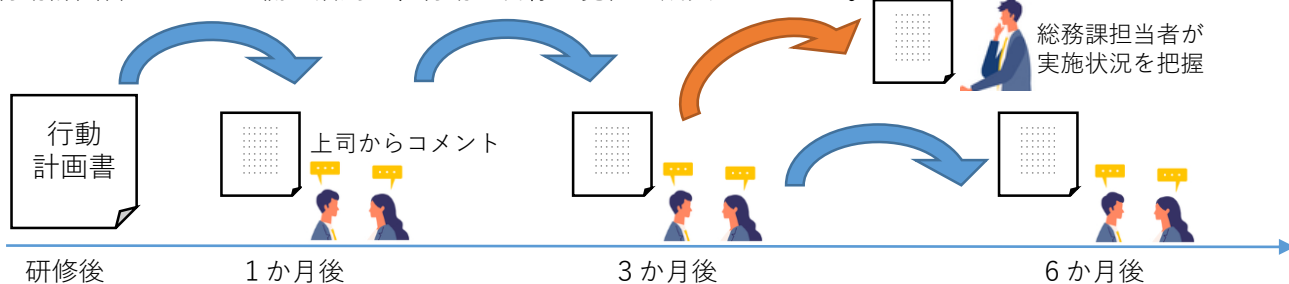
#### 効果

振り返りでは「自分には他責の傾向があるので自責の視点も持つように意識したい」「アサーションを知らなかったが、意識して使いたい」「自分を見直すいい機会になった」との声があった。普段の職場から離れ、自己の見直し・学び直し・問い直しをする場となっているようだった。

\*2006年に経済産業省が提唱した『社会人基礎力』（職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力）の一部である「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されている。

#### <受講後の流れ>

行動計画書のコメント欄を活用し、行動や目標を見直し成長につなげる。



#### <ご担当者様からのコメント>

職員の自律性やコミュニケーションの向上を目的に、採用後一定期間が過ぎた職員が、仲間とともに自己を研修を依頼しましたが、本町の意を汲みとっていただき、的を絞った的確な講義とワークで大変有意義なものとなりました。受講者からの感想も好感的で、動に移し自己実現できる職員として活躍して欲しいと願っています。（総務課行政管理係 垣谷様）